

## 大粒で倒れにくいソバ新品種「にじゆたか」

### 研究のねらい

東北地域は日本のソバ作付面積の約30%を占める重要産地であるが、10アールあたりの平均収量は全国平均の約70%と少ない。収量性と品質の向上および安定化をはかるため、耐倒伏性・良品質・多収などの優良特性をそなえる東北地域向け品種を育成する。

### 成果の内容

- ①岩手県盛岡市における5年間の平均成績では、「にじゆたか」は「階上早生」に比べ収量が約4%多い。草丈は10cm高いが、非常に倒れにくい。成熟期は4日ほど遅く、岩手県平野部では8月初旬までに播種するのが望ましい(表1、図1)。
- ②「にじゆたか」は大粒で黒く(写真2)、千粒重は約36g、容積重は約630gで外観がよい。
- ③そば粉の白度が高く、麺の味、香りなど品質についても実需評価がよい(表1)。
- ④耐湿性は強化されていないので、既存品種と同様に圃場の排水対策に留意する。

表1 「にじゆたか」の生育および品質特性

調査項目\品種	にじゆたか	階上早生
収量 (kg/a)	19.7	19.0
草丈 (cm)	121	111
倒伏程度 <sup>1)</sup>	1.0	2.3
生育期間 (日)	69	65
そば粉白度 <sup>2)</sup>	71.6	69.9
味 <sup>3)</sup>	5.8	5.0
香り <sup>3)</sup>	5.3	5.0

1) 無：0～微：1～少：2～中：3～多：4～甚：5の6段階評価

2) ロール製粉、色相(湿式)測定に基づく値(平成21、22年東北農研センター産の実需評価平均値、以下同じ)

3) ロール製粉・機械製麺(そば粉4割)による官能評価。標準を5点とし、香り、味(甘み)が良ければ加点。



写真1 「にじゆたか」の草姿  
(35cm間隔の条播、播種後50日)



写真2 にじゆたかの子実

### 成果の利活用

- ①東北地域をはじめとする寒冷地から温暖地にかけての秋収穫用ソバとして栽培できる。